

「間取り図を使う」中学校の授業提案

○奈良教育大学 田中智子 ・ 奈良教育大学附属中学校 中嶋たや
奈良教育大学 湯川聡子

1. 目的

私は中学校家庭科における住居学習の基礎・基本として住宅の間取り図を用いた教材を作成し、授業を提案する。間取り図の読み取りを通して、自分自身と家族との関わりや、家族が居心地のいい住まいとはどのような空間かを考えさせ、住居を身近なものとして興味を持たせたい。今回の授業の目的として重視した点は「間取り図の理解」「住居に対する興味」の2点である。住居学習の第一段階としてこの2点の向上を最終目的とした。

2. 方法

まず教材の作成に取り組み、住宅広告、雑誌等から8件の間取り図を選び出し、それぞれを百分の一の縮尺に統一してかきなおした。大学生を対象とした予備調査の後、附属中学校2年生の2クラスで授業を実施した。授業時間は全4時間で、最初に間取り図記号、LDKの形態について学習し、本授業の中心となる家選びに入る。教材として開発した8つの間取り図から班作業で好みの家を選択し、次週に班の発表の時間を設けた。

3. 結果

「間取り図の理解」「住居に対する興味」の2点について事前事後の調査を行った。この授業で生徒たちは自発的に楽しんで作業を行っており、生徒たちの間取り図の理解度、住居に対する興味は確実に上昇した。生徒自身が主体的・自発的に取り組んでいく住居学習の第一段階として、今回の授業は十分に効果をあげることができたといえる。